

DERWENT-ACC-NO: 1987-359039

DERWENT-WEEK: 198751

COPYRIGHT 2006 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Iron with indication marks on the temperature
setting panel - allowing operator to easily set temp.
for fibre

PATENT-ASSIGNEE: MATSUSHITA ELEC IND CO LTD [MATU]

PRIORITY-DATA: 1986JP-0107107 (May 9, 1986)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE
PAGES MAIN-IPC		
JP 62261400 A	November 13, 1987	N/A
002 N/A		

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
APPL-DATE		
JP 62261400A	N/A	1986JP-0107107
May 9, 1986		

INT-CL (IPC): D06F075/26

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 62261400A

BASIC-ABSTRACT:

Indication marks for the handling of fibre prods. are indicated at the temp. setting part of the iron. LED (light emission diode), and indication panels are used.

USE/ADVANTAGE - Indication marks attached on clothings and set indications coincide to make usage easier.

CHOSEN-DRAWING: Dwg. 0/3

TITLE-TERMS: IRON INDICATE MARK TEMPERATURE SET PANEL ALLOW OPERATE EASY SET
TEMPERATURE FIBRE

DERWENT-CLASS: F07

CPI-CODES: F03-J02;

SECONDARY-ACC-NO:

CPI Secondary Accession Numbers: C1987-153760

⑪ 公開特許公報 (A)

昭62-261400

⑥Int.Cl.⁴
D 06 F 75/26識別記号
厅内整理番号
7195-4L

⑫公開 昭和62年(1987)11月13日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全2頁)

⑬発明の名称 アイロン

⑭特願 昭61-107107
⑮出願 昭61(1986)5月9日

⑯発明者 竹中 賢治	門真市大字門真1006番地	松下電器産業株式会社内
⑯発明者 財前 克徳	門真市大字門真1006番地	松下電器産業株式会社内
⑯発明者 高橋 正樹	門真市大字門真1006番地	松下電器産業株式会社内
⑯発明者 小木曾 圭一	門真市大字門真1006番地	松下電器産業株式会社内
⑰出願人 松下電器産業株式会社	門真市大字門真1006番地	
⑱代理人 弁理士 中尾 敏男	外1名	

明細書

1、発明の名称

アイロン

2、特許請求の範囲

温度設定するための表示部分に繊維製品の取り扱いに関する表示記号を表示したアイロン。

3、発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明は家庭用のアイロンに関するものである。

従来の技術

従来、アイロンの温度設定用表示部分は、第3図に示すように、LED 1～7、および表示パネル8～9、設定スイッチ10から成り、アイロンをあてようとする繊維の材質より、適切な設定を選択し、設定スイッチ10を押すことによりLED 1～7の表示を切り換え、温度を設定するものであった。

発明が解決しようとする問題点

今日、繊維製品の発達により、繊維において、新素材や、各種素材の混紡、など多種の繊維が衣

類に用いられるようになった。この結果、一般的なとえば主婦が衣類等を手にした時に、その素材が何であるかを見分けるのが困難で、従来のような繊維の材質に応じて設定するアイロンの表示は使い勝手のよくないものとなっている。

本発明は上記従来の問題を解決したものであり、表示記号により、容易に繊維の材質に応じた温度設定ができるアイロンを提供するものである。

問題点を解決するための手段

上記問題点を解決するため、温度設定するための表示部に繊維製品の取り扱いに関する表示記号を表示させたものである。

作用

上記構成としたことにより、繊維製品にはJISで定められた繊維製品の取り扱いに関する表示記号がつけられており、アイロンをかけるときに衣類のこれに対応した表示部の表示記号に設定アイロンがけを行なうものである。

実施例

第1図は本発明の実施例を示す具体的な構成図

である。

図における 11～14 は発光表示素子である LED、15 は LED 11～14 における表示を選択するための設定スイッチ、16 は LED 11～14 の表示に対応した表示パネルで、表示パネル 16 には JIS で定められる繊維製品の取扱いに関する表示記号と同様の表示記号(取扱い絵表示)17 が描かれている。

アイロンの使用者が、衣類にアイロン掛けを行なうとき、衣類には、第2図 a～d に示すような繊維製品の取扱いに関する表示記号が付けられている。したがって、使用者はその衣類の素材が何であるかわからなくても、この場合であれば、例えば第2図 c の記号より、第1図の表示記号 17 に対応させアイロンの温度設定をこれに対応した LED 14 に選択する。同様に他の取扱い絵表示が付されていれば、それに対応した表示設定に設定スイッチ 15 により切り換えて選択するものである。

以上のように本実施例によると、アイロンの設

定部の表示が衣類の表示に対応したものとなるので、設定の選択が容易に行なえるものである。

発明の効果

従来のアイロンの温度設定部は、衣類の繊維に対応したもので、今日の多様化した素材の時代にあっては適切なものではなかったが、本発明によると、衣類に付けられた表示記号に設定表示が対応したものとなっているので、だれもが容易に使うことのできるアイロンを実現するものである。

4. 図面の簡単な説明

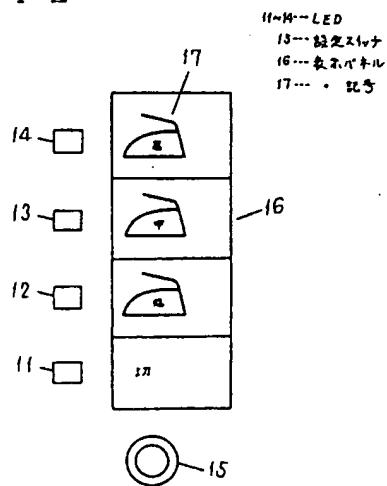
第1図は本発明アイロンの温度設定の表示部分の一実施例を示す説明図、第2図は衣類についている表示記号の例を示す説明図、第3図は従来のアイロンの温度設定の表示部分の説明図である。

11～14……LED(発光表示素子)、17……表示記号。

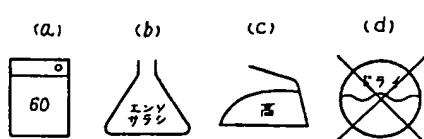
代理人の氏名 弁理士 中尾敏男ほか1名

第3図

第1図



第2図



1～7---LED
8,9---表示パネル
10---設定スイッチ

